

浅岡佳代塑像展

「The Way - 道」開催にあたって

私は伝統工芸職人の家に育ちました。両親が干支や七福神、雛人形、五月人形など季節の人形を次々と作っていくのを飽きずに眺めていたのを覚えています。父の粘土を整えていく手つき、その上に母が和紙をのせていく様はどれだけ見ても見飽きない光景でした。今回、私の作品はその両親に倣った手法で制作しています。



両親の手仕事を見ること以外、特別な美術教育を受けたわけではありませんが、2010年にはハワイ島の郡立美術館(EHCC)で絵の個展を開かせていただきました。その際、いろいろなアーティストや作品に出会えたことは私の財産です。

中でも専属インストラクターをしていたタカキ氏の作品には強く惹かれ、その後、いろいろと教えを請うようになりました。今回はそのタカキ氏と共に作品を展示することができ、実現に向けてご尽力くださった方々に深く感謝しています。

「道」というタイトルは高村光太郎の詩「道程」に由来しています。よく知られた有名な詩ではございますが、ここに引用をもってご挨拶の結びとさせていただきます。今回はご観覧、誠にありがとうございます。

道程

僕の前に道はない
僕の後ろに道は出来る
ああ、自然よ
父よ
僕を一人立ちさせた広大な父よ
僕から目を離さないで守る事を
せよ
常に父の気魄(きはく)を僕に
充たせよ
この遠い道程のため
この遠い道程のため

高村光太郎